

2-4-2 地域

2-4-2-1 単純集計

*「その他」の欄に記述された内容について集計時に精査し、共通の傾向が見い出されたものはまとめて分類している。
そのため、調査用紙にあらかじめ入れられていなかった項目が表われている。

配布件数	205
回収件数	145
回収率	70.7%

質問1 貴組織の種別をお答えください。

回答項目	回収	構成率
1. 社会福祉協議会	17	11.7%
2. 自治体(教育委員会除く)	16	11.0%
3. 教育委員会	16	11.0%
4. 企業	6	4.1%
5. NPO(任意団体含む)	63	43.4%
6. 生協・農協	2	1.4%
7. 商工会	7	4.8%
8. 財団法人,公益法人,独立行政法人	7	4.8%
9. その他	8	5.5%
10. 無回答	3	2.1%
合計	145	100%

質問2 貴組織の所在地を都道府県でお答えください。

東日本(東北～中部)

北海道	2	埼玉	8
青森	4	東京	12
秋田	3	千葉	1
岩手	2	神奈川	2
山形	2	新潟	2
宮城	4	長野	6
福島	3	石川	1
群馬	2	静岡	4
栃木	1	愛知	5
茨城	1		
小計			65

西日本(近畿～九州)

岐阜	5	山口	4
福井	1	香川	1
京都	1	愛媛	7
滋賀	4	高知	2
三重	1	福岡	6
和歌山	1	佐賀	4
奈良	1	長崎	2
大阪	7	大分	4
兵庫	9	熊本	4
鳥取	2	宮崎	1
岡山	3	鹿児島	3
広島	5	沖縄	2
小計			80
合計			145

質問3 V活動ツールの活用の有無に関わらず、貴組織のボランティア活動への取り組み期間についてお答えください。(西暦でお答えください)

最長	1951年11月
最新	2003年10月
最頻値	2002年4月
回答数	138

質問4 V活動ツールの活用状況についてお答えください(平成15年12月現在)

回答項目	件数	割合
1. 活用している	126	86.9%
2. 現在は活用していない	18	12.4%
3. 無回答	1	0.7%
合計	145	100%

質問5 質問4で「1. 活用している」と答えた方に質問します。V活動ツールの活用内容について、以下の①～⑦にお答え下さい。

- ① V活動ツールを活用した理由(きっかけ)は何ですか。各設問ごとに、その理由の度合いをお答えください。
 ※ 判断基準(各設問ごとに、この判断基準を基にして○を付けてください)
 1. 大きな理由となった 2. 理由になった 3. あまり理由にはならなかった 4. まったく理由にはならなかった

<a. 係数>

回答項目	件数					合計
	1	2	3	4	無回答	
1. ボランティア活動への参加者を増やしたかったから	47	49	17	7	6	126
2. ボランティア活動の参加者の意欲をさらに高めたかったから	56	45	12	7	6	126
3. 参加者のボランティア活動の記録になると思ったから	34	30	35	19	8	126
4. 地域経済の活性化を図りたかったから	29	24	39	27	7	126
5. 地域住民同士のコミュニケーションを活性化したかったから	51	36	27	7	5	126
6. 地域とのつながりを強めたかったから	38	50	26	5	7	126
7. 外部の機関・団体から薦められたから	12	15	33	57	9	126

その他の理由・きっかけがあれば、お答えください。⇒自由回答

<b. 割合>

回答項目	件数					合計
	1	2	3	4	無回答	
1. ボランティア活動への参加者を増やしたかったから	37.3%	38.9%	13.5%	5.6%	4.8%	100%
2. ボランティア活動の参加者の意欲をさらに高めたかったから	44.4%	35.7%	9.5%	5.6%	4.8%	100%
3. 参加者のボランティア活動の記録になると思ったから	27.0%	23.8%	27.8%	15.1%	6.3%	100%
4. 地域経済の活性化を図りたかったから	23.0%	19.0%	31.0%	21.4%	5.6%	100%
5. 地域住民同士のコミュニケーションを活性化したかったから	40.5%	28.6%	21.4%	5.6%	4.0%	100%
6. 地域とのつながりを強めたかったから	30.2%	39.7%	20.6%	4.0%	5.6%	100%
7. 外部の機関・団体から薦められたから	9.5%	11.9%	26.2%	45.2%	7.1%	100%

- ② V活動ツールの名称は何ですか。
省略

- ③ V活動ツールをいつ頃から活用していますか。(西暦でお答えください)

最長	1967年9月
最新	2003年11月
最頻値	2003年4月
回答数	116

- ④ V活動ツールの利用は、組織内部から提案されましたか、組織外部から提案されましたか。合わせて、いずれかの具体的な提案者をお答えください。

回答項目	件数	割合
1. 組織内部	97	78.2%
2. 組織外部	27	21.8%
回答数	124	100%

④-1 組織内部の場合

回答項目	件数	割合
1. 組織のトップ	28	29.2%
2. 管理職	12	12.5%
3. ボランティア担当者	36	37.5%
4. 会員(参加者)	17	17.7%
5. その他	3	3.1%
回答数	96	100%

④-2 組織外部の場合

回答項目	件数	割合
1. 行政	16	66.7%
2. 社会福祉協議会	2	8.3%
3. ボランティア団体	4	16.7%
4. その他	2	8.3%
回答数	24	100%

- ⑤ V活動ツールはどのような形態ですか。「3.地域通貨」については該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. パスポート(手帳)タイプ	45	33.6%
2. カードタイプ	10	7.5%
3. 地域通貨	63	47.0%
4. 表彰状	10	7.5%
5. その他	6	4.5%
回答数	134	100%

- 3を選んだ方のみ地域通貨の具体的方式は何ですか(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. 通帳方式	18	28.6%
2. 紙券方式	49	77.8%
3. チップ方式	5	7.9%
4. 借用書方式	0	0.0%
5. パソコン記録・管理方式	5	7.9%
6. ICカード管理方式	0	0.0%
7. その他	1	1.6%

- ⑥ V活動ツールの配布対象者をお答えください。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. 会員(参加者)	60	47.6%
2. ボランティア登録者	34	27.0%
3. 一般	61	48.4%
4. 他の組織	7	5.6%
5. その他	1	0.8%
回答数	126	100%

- ⑦ V活動ツールは、全員(全組織)に配布されていますか、希望者(希望組織)のみに配布されていますか。

回答項目	件数	割合
1. 全員(全組織)	58	48.7%
2. 希望者(希望組織)のみ	61	51.3%
回答数	119	100%

- ⑧ V活動ツールの配布数についてお答えください。地域通貨の場合は登録者数をお答えください。(概数で結構です)

	部・枚		人		単位なし	
	H14年度	H15年度	H14年度	H15年度	H14年度	H15年度
平均値	22,242	14,143	1,105	870	1,114	1,297
最大値	638,000	313,000	20,000	20,000	9,635	8,429
最小値	0	0	0	0	0	10
中央値	200	227	100	128	100	135
回答数	43	52	27	37	20	24

- ⑨ V活動ツールの配布単価はどのように設定されていますか。

回答項目	件数	割合
1. 負担はない	87	69.0%
2. ツール購入費用	17	13.5%
3. 入会金	8	6.3%
4. 会費	20	15.9%
回答数	126	100%

⑩ V活動ツールは、どのような活動が対象となりますか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. ボランティア活動全般	90	72.0%
2. 福祉関係の活動	40	32.0%
3. 環境関係の活動	38	30.4%
4. 国際協力関係の活動	7	5.6%
5. たすけあい活動	47	37.6%
6. その他	6	4.8%
回答数	125	100%

⑪ V活動ツールには、どのような内容が掲載・添付されていますか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. V活動ツールの概要・説明	64	51.6%
2. カレンダー	11	8.9%
3. ボランティア活動の手引き・案内・注意事項	42	33.9%
4. 地域の活動団体一覧	16	12.9%
5. 広域の活動団体一覧	10	8.1%
6. ボランティア活動記録欄	51	41.1%
7. シール貼付・スタンプ押印欄	39	31.5%
8. ボランティア活動証明欄	22	17.7%
9. 活動メニュー一覧	30	24.2%
10. その他	8	6.5%
回答数	124	100%

⑫ V活動ツールには、どのような事柄を記録することができますか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. 活動日	74	59.7%
2. 活動時間	34	27.4%
3. 活動した人、受けた人	51	41.1%
4. 活動内容	69	55.6%
5. 活動回数	18	14.5%
6. 活動場所	29	23.4%
7. 活動記録欄はない	31	25.0%
8. その他	6	4.8%
回答数	124	100%

⑬ ボランティア活動の達成基準(目標)は何ですか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. 回数	13	10.4%
2. 時間数	15	12.0%
3. 内容	4	3.2%
4. 特に達成基準はない	95	76.0%
5. その他	3	2.4%
回答数	125	100%

⑭ V活動ツールには、どのようなインセンティブ(ボランティア活動を活性化するための誘因)が付けられていますか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. シール・スタンプ	20	15.9%
2. 割引・商品等の特典	15	11.9%
3. 表彰	19	15.1%
4. 認定	9	7.1%
5. 寄付につながる	11	8.7%
6. 地域通貨	40	31.7%
7. 特にない	34	27.0%
8. その他	5	4.0%
回答数	126	100%

⑮ V活動ツールは貴組織独自で作成したものでか。

回答項目	件数	割合
1. 独自で作成した	107	84.3%
2. 他の組織が作成したものを活用させてもらった	15	11.8%
3. 他の組織から利用を依頼された	5	3.9%
4. その他	0	0.0%
回答数	127	100%

⑯ V活動ツールを活用して、どのような成果がありましたか。各設問ごとに、その成果の度合いをお答えください(回答が困難なものについては、回答されなくても結構です)。

※ 評価基準(各設問ごとに、この評価基準を基にして○を付けてください)

1. 大変成果があった 2. 成果があった 3. あまり成果が上がらなかった
4. まったく成果が上がらなかった

<a. 係数>

回答項目	件数					合計
	1	2	3	4	無回答	
1. ボランティア活動の参加者が増えた	20	55	27	2	22	126
2. ボランティア活動の参加者同士のコミュニケーションが活性化した	23	56	23	2	22	126
3. 参加者の意欲が高まったり、ボランティア活動が盛んになった	27	66	17	1	15	126
4. 周囲から自分たちのボランティア活動への理解が深まった	13	52	33	4	24	126
5. 組織内部の人の理解・協力が得られるようになった	16	56	23	2	29	126
6. 地域の理解・協力が得られるようになった	9	59	23	5	30	126
7. 行政の理解・協力が得られるようになった	13	38	32	12	31	126
8. 企業の理解・協力が得られるようになった	7	26	41	18	34	126
9. ボランティア活動の質が高まった	13	47	31	4	31	126
10. 活動範囲が広がった	17	46	27	7	29	126
11. 活動の種類が増えた	23	45	24	4	30	126
12. 運営協力者が増えた	14	48	30	5	29	126
13. ボランティア活動への資金等の援助が増えた	5	16	48	21	36	126
14. 地域経済が活性化した	5	18	40	24	39	126

<b. 割合>

回答項目	件数					合計
	1	2	3	4	無回答	
1. ボランティア活動の参加者が増えた	15.9%	43.7%	21.4%	1.6%	17.5%	100%
2. ボランティア活動の参加者同士のコミュニケーションが活性化した	18.3%	44.4%	18.3%	1.6%	17.5%	100%
3. 参加者の意欲が高まったり、ボランティア活動が盛んになった	21.4%	52.4%	13.5%	0.8%	11.9%	100%
4. 周囲から自分たちのボランティア活動への理解が深まった	10.3%	41.3%	26.2%	3.2%	19.0%	100%
5. 組織内部の人の理解・協力が得られるようになった	12.7%	44.4%	18.3%	1.6%	23.0%	100%
6. 地域の理解・協力が得られるようになった	7.1%	46.8%	18.3%	4.0%	23.8%	100%
7. 行政の理解・協力が得られるようになった	10.3%	30.2%	25.4%	9.5%	24.6%	100%
8. 企業の理解・協力が得られるようになった	5.6%	20.6%	32.5%	14.3%	27.0%	100%
9. ボランティア活動の質が高まった	10.3%	37.3%	24.6%	3.2%	24.6%	100%
10. 活動範囲が広がった	13.5%	36.5%	21.4%	5.6%	23.0%	100%
11. 活動の種類が増えた	18.3%	35.7%	19.0%	3.2%	23.8%	100%
12. 運営協力者が増えた	11.1%	38.1%	23.8%	4.0%	23.0%	100%
13. ボランティア活動への資金等の援助が増えた	4.0%	12.7%	38.1%	16.7%	28.6%	100%
14. 地域経済が活性化した	4.0%	14.3%	31.7%	19.0%	31.0%	100%

その他(ご自由にお書きください) ⇒自由回答

- ⑰ V活動ツールを活用するにあたり、どのような点に苦勞されましたか。最も苦勞した点について3つまで○を付けてください。

回答項目	件数	割合
1. 資金の調達	22	18.3%
2. しきみづくり	50	41.7%
3. 参加者の募集	33	27.5%
4. 参加者への周知	44	36.7%
5. 組織内部への周知	17	14.2%
6. 活動の継続	22	18.3%
7. 他の組織との連携	10	8.3%
8. 地域との連携	17	14.2%
9. 行政との連携	3	2.5%
10. 企業との連携	5	4.2%
11. 学校との連携	13	10.8%
12. ボランティア活動情報の収集	15	12.5%
13. ボランティア受入れ団体との連絡・調整	11	9.2%
14. その他	3	2.5%
回答数	120	100%

※また、上記の問題についてどのように解決したか、回答番号ごとにお書きください。⇒ 自由回答

- ⑱ V活動ツールの活用状況を把握するためにどのような工夫をしていますか。

回答項目	件数	割合
1. 定期的に確認	38	33.0%
2. 取り組み期間の最後に一度だけ確認	29	25.2%
3. 随時確認している	11	9.6%
4. 配布するだけで特に何もしていない	37	32.2%
回答数	115	100%

- ⑲ 総合的にみて、V活動ツールの成果に満足されていますか。

回答項目	件数	割合
1. たいへん満足している	7	5.6%
2. 満足している	70	56.0%
3. あまり満足していない	46	36.8%
4. まったく満足していない	2	1.6%
回答数	125	100%

- ⑳ 現在使用しているV活動ツールについて、今後、改善・追加できればよいと思う内容やインセンティブについてお答えください。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. V活動ツールの概要・説明	29	24.6%
2. カレンダー	4	3.4%
3. ボランティア活動の手引き・案内・注意事項	23	19.5%
4. 地域の活動団体一覧	11	9.3%
5. 広域の活動団体一覧	9	7.6%
6. ボランティア活動記録欄	8	6.8%
7. シール貼付・スタンプ押印欄	3	2.5%
8. シール・スタンプのやり方	8	6.8%
9. ボランティア活動証明欄	8	6.8%
10. 割引・商品等の特典	11	9.3%
11. 表彰制度の導入	5	4.2%
12. 認定制度の導入	7	5.9%
13. 寄付団体の募集やその寄付先の選定・選択	11	9.3%
14. 地域通貨の形態の変更	15	12.7%
15. 地域通貨の流通のしくみの変更	25	21.2%
16. 特になし	16	13.6%
17. その他	9	7.6%
回答数	118	100%

質問6 質問4で「2. 現在は活用していない」と答えた方に質問します。
V活動ツールを中止した理由についてお答えください。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. 成果がなかった	2	11.8%
2. 予算がなくなった	3	17.6%
3. 方針が変わった	0	0.0%
4. 目的を達成した	1	5.9%
5. 担当者がいなくなった	0	0.0%
6. 単年度だけの取り組みだった	3	17.6%
7. 試験的な取り組みだった	10	58.8%
8. その他	7	41.2%
回答件数	17	100%

※「1. 成果がなかった」に回答された方は、その原因をお書きください。⇒ 自由回答

※「4. 目的を達成した」に回答された方は、どのような目的をどのように達成したかお書きください。⇒ 自由回答

質問7 今お使いのものにこだわらず、どのようなV活動ツールがあるとよいと思いますか。(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1. ボランティア活動をして一定数の記録がたまったら、評価(表彰、認定等)をしてもらえる	40	34.8%
2. 楽しんで記録ができるようにシールも貼れる	14	12.2%
3. シール貼付については、楽しく貼れるジグソーパズルやすごろくなどゲーム性を持たせる	10	8.7%
4. V活動ツールを提示するだけで、商店やイベント等での割引やチケットの優先購入できる	48	41.7%
5. V活動ツールを活用すると自分の応援したいボランティア団体へ支援企業・団体が一定額の寄付をしてくれる	39	33.9%
6. ボランティアをしたことだけでなく、相手からしてもらったことを記録することもできる	33	28.7%
7. 有料でもよいので体裁がよく、多くの人が使いたいと思うようなものにする	27	23.5%
8. 携帯電話やインターネットを使ったポイント管理のシステムを考える	28	24.3%
9. 特になし	14	12.2%
回答件数	115	100%

その他、新しいアイデア等があればお書きください。⇒ 自由回答

質問8 ボランティア活動の推進もしくは活性化に関する以下のような考え方や手法等に賛成ですか？ 全質問に対して「賛成する」「賛成しない」のどちらかに○を付けてください。

<a.係数>

	賛成	反対	無回答	合計
(1) ボランティア活動は自主的に取り組むべきものである。	141	2	5	148
(2) 楽しくなければボランティア活動ではない。	102	38	8	148
(3) ボランティア活動は積極的に表彰すべきだ。	74	65	9	148
(4) ボランティア活動をしたら、それを積極的にPRすべきだ。	84	51	13	148
(5) ボランティア活動の最初のきっかけは、報酬等を目当てにしたものでもよい。	34	106	8	148
(6) ボランティア活動をしたことに対して報酬等を用意してもよい。	86	50	12	148
(7) ボランティアを強調することには抵抗がある。	77	59	12	148
(8) 時間的なゆとりがないので、勤労者をボランティア活動に参加させることは難しい	26	113	9	148
(9) ボランティア組織の実際の運営には、どちらかと言えば、意欲よりマネージメント能力の方が重要だ。	69	68	11	148
(10) ボランティア活動を行政はもっと支援すべきだ。	119	19	10	148
(11) ボランティアの仲間づくりは、結局ロコミが最も有効だ。	108	27	13	148
(12) 「ボランティアはちょっとカッコいい」というイメージを広めたほうが効果がある。	72	67	9	148
(13) ボランティア活動は、子どもたちに社会のルールやマナーを教える上で有効だ。	103	35	10	148
(14) 親子参加型のボランティア活動をもっと推進すべきである。	134	7	7	148
(15) 大学生や高校生を、小中学生ボランティアの指導者として育成したらよい。	133	9	6	148
(16) 放課後や休日のボランティア活動を進めるためには、もっと積極的に学校開放をすべきだ。	132	9	7	148
(17) ボランティア活動を子どもに勧める前に、大人が体験すべきだ。	108	26	14	148
(18) 子どもたちにはボランティア活動の機会を意図的に提供したほうがよい。	126	13	9	148
(19) ボランティア活動の実績が、就職や進学に際して評価されるとよい。	130	11	7	148
(20) ボランティア活動の推進にはV活動ツールがあったほうがよい。	120	13	15	148
(21) V活動ツールは使って楽しいものにすべきだ。	131	6	11	148
(22) 大人も子どもも一緒に使える共通のV活動ツールがあるとよい。	127	11	10	148
(23) V活動ツールの配布は、希望者だけに限定すべきではない。	83	51	14	148
(24) V活動ツールには活動の精神を盛り込むべきだ。	113	23	12	148

(25) 活動を記録できるV活動ツールは、その利用状況を定期的に確認すべきだ。	99	34	15	148
(26) 一緒にV活動ツールを使う仲間・団体を増やすべきだ。	117	17	14	148
(27) V活動ツールの対象となる活動内容は限定したほうがよい。	36	99	13	148
(28) ボランティア活動は自分たちの組織だけでなく、地域の人や他の組織と協力して進めることが必要だ。	139	2	7	148
(29) ボランティア組織は、積極的にボランティア活動の企画を提案すべきである。	128	11	9	148
(30) ボランティア活動は身近な地域で行うべきである。	104	35	9	148
(31) 一緒にボランティア活動する仲間と連帯感を持てるような交流会などの仕組みが必要だ。	136	5	7	148

<b.割合>

	賛成	反対	無回答	合計
(1) ボランティア活動は自主的に取り組むべきものである。	95.3%	1.4%	3.4%	100%
(2) 楽しくなければ本来のボランティア活動ではない。	68.9%	25.7%	5.4%	100%
(3) ボランティア活動は積極的に表彰すべきだ。	50.0%	43.9%	6.1%	100%
(4) ボランティア活動をしたら、それを積極的にPRすべきだ。	56.8%	34.5%	8.8%	100%
(5) ボランティア活動の最初のきっかけは報酬等を目当てにしたものでもよい。	23.0%	71.6%	5.4%	100%
(6) ボランティア活動をしたことに対して報酬等を用意してもよい。	58.1%	33.8%	8.1%	100%
(7) ボランティアを強調することには抵抗がある。	52.0%	39.9%	8.1%	100%
(8) 時間的なゆとりがないので、勤労者をボランティア活動に巻き込むことは難しい	17.6%	76.4%	6.1%	100%
(9) ボランティア組織の運営には、どちらかと言えば、意欲よりマネジメント能力の方が重要だ。	46.6%	45.9%	7.4%	100%
(10) ボランティア活動を行政はもっと支援すべきだ。	80.4%	12.8%	6.8%	100%
(11) ボランティアの仲間づくりは、結局ロコミが最も有効だ。	73.0%	18.2%	8.8%	100%
(12) 「ボランティアはちょっとカッコいい」というイメージを広めたほうが効果がある。	48.6%	45.3%	6.1%	100%
(13) ボランティア活動は、子どもたちに社会のルールやマナーを教える上で有効だ。	69.6%	23.6%	6.8%	100%
(14) 親子参加型のボランティア活動をもっと推進すべきである。	90.5%	4.7%	4.7%	100%
(15) 大学生や高校生を、小中学生ボランティアの指導者として育成したらよい。	89.9%	6.1%	4.1%	100%
(16) 放課後や休日のボランティア活動を進めるためには、もっと積極的に学校開放をすべきだ。	89.2%	6.1%	4.7%	100%
(17) ボランティア活動を子どもに勧める前に、大人が体験すべきだ。	73.0%	17.6%	9.5%	100%
(18) 子どもたちにはボランティア活動の機会を意図的に提供したほうがよい。	85.1%	8.8%	6.1%	100%
(19) ボランティア活動の実績が、就職や進学に際して評価されるとよい。	87.8%	7.4%	4.7%	100%
(20) ボランティア活動の推進にはV活動ツールがあったほうがよい。	81.1%	8.8%	10.1%	100%
(21) V活動ツールは使って楽しいものにすべきだ。	88.5%	4.1%	7.4%	100%
(22) 大人も子どもも一緒に使える共通のV活動ツールがあるとよい。	85.8%	7.4%	6.8%	100%
(23) V活動ツールの配布は、希望者だけに限定すべきではない。	56.1%	34.5%	9.5%	100%
(24) V活動ツールには活動の精神を盛り込むべきだ。	76.4%	15.5%	8.1%	100%
(25) 活動を記録できるV活動ツールは、その利用状況を定期的に確認すべきだ。	66.9%	23.0%	10.1%	100%
(26) 一緒にV活動ツールを使う仲間・団体を増やすべきだ。	79.1%	11.5%	9.5%	100%
(27) V活動ツールの対象となる活動内容は限定したほうがよい。	24.3%	66.9%	8.8%	100%
(28) ボランティア活動は自分たちの組織だけでなく、地域の人や他の組織と協力して進めることが必要だ。	93.9%	1.4%	4.7%	100%
(29) ボランティア組織は、積極的にボランティア活動の企画を提案すべきである。	86.5%	7.4%	6.1%	100%
(30) ボランティア活動は身近な地域で行うべきである。	70.3%	23.6%	6.1%	100%
(31) 一緒にボランティア活動する仲間と連帯感を持てるような交流会などの仕組みが必要だ。	91.9%	3.4%	4.7%	100%